

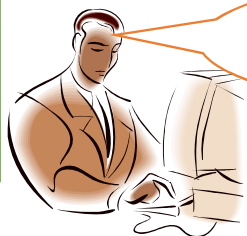
■合同現地踏査

- ・[定義] 工事発注前の設計段階で、業務委託者及び受託者が合同で現地踏査を行い、設計条件や工事施工時の留意点、関連事業の情報、設計方針の明確化等で、情報共有を図り設計方針を確認する。
- ・[対象] 各建設管理部で2～3業務を試行

●具体的対応●

- <入札前>・設計図書の特記仕様書に対象案件の旨を明記、踏査に係る費用を計上
- <業務中>・業務担当員が実施時期や回数を決定し、実施する。実施後は書面で相互確認。
- <業務後>・業務終了後、両者はアンケートに協力。

委託者



既設構造物が、計画した仮道工に干渉するので
対処法を設計方針に反映して下さい。

確認しました。仮道工の位置を再確認し、
既設構造物の扱いについて再検討します。



受託者

